

令和7年度高知県県民世論調査 調査項目（抜粋）

8. 外国人との共生に関する意識調査について

県内在住の外国人は年々増加傾向にあり、令和6年12月時点で6,848人となっています。

一方で、本県は全国に先行して人口減少が加速しており、産業分野において人手不足が深刻化しています。今後の地域社会や産業を支えるために、外国人の力は不可欠な存在となっています。

こうした状況を踏まえ、県では、「日本国籍の県民も外国籍の県民も、互いに分かり合える地域づくり」「国籍を問わず、誰もが安心して暮らせる地域づくり」「国籍を問わず、誰もが地域の一員として活躍できる地域づくり」の実現に向けて、市町村や企業、県民の皆さまと連携しながら「多文化共生」の取組を進めていく方針です。

問35 「多文化共生」という言葉を知っていますか。（1つだけ○印）

- 1 意味も含めて知っている
- 2 聞いたことはあるが意味は知らない
- 3 全く知らない

問36 県内に住む外国人が年々増加していることについて、あなたはどのように感じていますか。

（1つだけ○印）

- 1 好ましい
- 2 どちらかといえば好ましい
- 3 どちらかといえば好ましくない
- 4 好ましくない
- 5 どちらともいえない

問37 外国人が身近に増えることについてどのような変化があると思いますか。

（当てはまるものすべてに○印）

- 1 人手不足の解消につながると思う
- 2 外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う
- 3 社会に多様性が生まれると思う
- 4 地域の活性化につながると思う
- 5 地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増えると思う
- 6 言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる
- 7 日本人の雇用機会が減少するのではないかと不安を感じる
- 8 外国人向けサービス（多言語対応等）や教育など、社会的負担が増えると思う
- 9 緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安を感じる
- 10 地域で暮らす外国人が増えることに漠然とした不安を感じる
- 11 その他（)

高知県での暮らしアンケート

これは高知県が行う調査です。外国人も日本人も住みやすい高知県にするために、あなたの意見を教えてください。

答えるのに名前は入りません。あなたの答えは、ほかの人に知られません。協力をお願いします。

高知県国際交流課

* 必須の質問です

1. 在留資格を教えてください。 *

1つだけマークしてください。

技術・人文知識・国際業務

特定技能

技能実習

留学

家族滞在

特定活動

永住者

日本人の配偶者等

定住者

特別永住者

その他: _____

2. 高知に来て何年ですか？（例：6ヶ月、1年、10年以上など） *

3. 高知県に住み続けたいですか？ *

1つだけマークしてください。

- 住み続けたい
- 高知県以外に住みたい
- 自分の国に帰りたい
- その他: _____

4. 住宅を確保するときに困ったことはありますか。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 会社や大学が準備してくれたので、困らなかった
- 言葉が通じず、書類などの内容が分からなかった
- どのように探していいか分からなかった
- その他: _____

5. 病院で治療や診療を受ける時に困ったことを教えてください。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 自分の症状に合う診察や治療を受けられる病院がどこにあるか分からなかった
- 病院で症状を正確に伝えられなかった
- 言葉が通じる病院がどこにあるか分からなかった
- 病院の受付でうまく話せなかった病院の書類が読めなかったり、書けなかったりした
- 母国等に比べて医療費が高かった
- 診断結果や治療方法が分からなかった
- 健康・医療について気軽に相談できるところがなかった
- 病院での手続きが分からなかった
- 保険が適用されるかどうか分からなかった
- 病院や薬局で出される薬の飲み方や使い方が分からなかった
- 医療保険に加入できていなかった
- その他: _____

6. あなたが過去1年間に災害（地震や津波、台風、大雨など）で困ったことを *
教えてください。

避難場所：地震による津波、火災などのリスクから命を守るために緊急避難する場所

避難所：災害によって自宅に住めなくなった人が一時的に生活を送る場所

当てはまるものをすべて選択してください。

- 信頼できる情報をどこから得ればよいか分からなかった
- 避難場所が分からなかった
- 警報・注意報などの避難に関する情報が、多言語で発信されていないため分からなかった
- 被災後の支援策があっても、利用方法・申請方法が分からなかった
- 災害について相談できる場所が分からなかった
- 避難所がどのようなものか分からなかった
- 困ったときに頼れる人がいなかった
- 被災後の支援策があっても、情報が多言語で発信されていないため分からなかった
- 情報の入手に時間がかかった
- 救急車の利用方法が分からなかった
- 日本における災害がどのようなものか分からなかった
- その他: _____

7. 災害などの情報がやさしい日本語で発信されても分かりますか。 *

1つだけマークしてください。

- 分かる
- 分からない
- その他: _____

8. (子どもがいる方のみ) あなたの子どもはどの学校や保育園に通っていますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 高知県の幼稚園・保育所等に通っている
- 高知県の小学校に通っている
- 高知県の中学校に通っている (夜間中学を含む)
- 高知県の高校 (通信制高校を含む) に通っている
- 高知県の大学・大学院に通っている
- 高知県の学校 (小学校・中学校・高校・大学・大学院以外) に通っている
- 卒業して通っていない
- 通いたいが、通っていない
- 高知県以外の学校 (小学校・中学校・高校・大学・大学院以外) に通っている
- その他: _____

9. (子どもがいる方のみ) あなたが子育てについて困っていることを教えてください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 養育費が高い
- 子どもが私の母語・母文化を十分に理解していない
- 子どもが日本語を十分に理解できない
- 学校・保育所・幼稚園などの先生とのコミュニケーションがうまくとれない
- 教育や子育てについての悩みを相談できるところや人がいない
- 保育所や幼稚園等に子どもを入所させる方法がわからない
- 学校・保育所・幼稚園などからの連絡文書が理解できない
- 子どもを預けようとしたが断られた
- 育児を理由として仕事上で不利益な扱いを受ける
- 子育てに関する情報が得られない
- 子どもが学校・保育所・幼稚園等になじめない (いじめられている)
- 特に困ったことはない
- その他: _____

10. (子どもがいる方のみ) 子育てや教育の情報をどこから入手していますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 家族・親族・友人・知人
- SNS
- 公的機関（市区町村・都道府県・国）の窓口
- テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
- 公的機関のウェブサイト・広報・発行物
- 職場
- 学校
- 特定技能の関係機関・団体等（監理団体・登録支援機関等）
- 大使館・領事館
- 国際交流協会・NPO等
- どこから入手すればいいかわからない
- その他: _____

11. その他、高知県に住んでいて困ったことがあれば、記入してください。

